

電線共同溝の整備により、防災機能が確保され、都市景観も向上

- 災害時に電柱が倒壊し、緊急自動車が通行不能になるのを防止し、円滑な避難、救援活動を支援。
- 歩行者や自転車等の安全、快適な通行空間を確保。
- 北陸新幹線開業を視野に街の魅力向上のため、無電柱化の積極的な推進により、美しい都市景観を創出。

【位置図】



【整備状況】

整備前



邪魔な電線を無くしてすっきりとした都市景観を創出



整備後



安全・快適な歩道空間の整備



国道157号電線共同溝事業への住民意見

野々市町の町民は、電線のない町を望んでいます。電線のない町は、防災機能も向上し、歩行者や自転車等の安全、快適な通行空間を確保し、美しい都市景観を創出することができます。また、電線のない町は、防災機能も向上し、歩行者や自転車等の安全、快適な通行空間を確保し、美しい都市景観を創出することができます。また、電線のない町は、防災機能も向上し、歩行者や自転車等の安全、快適な通行空間を確保し、美しい都市景観を創出することができます。

平成21年4月8日 北國新聞(30面)掲載